

目標3

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
子育てと介護支援の推進	子育て・保育サービスの充実	71	待機児童の解消に向けた保育施設の整備	保育課	保育施設の整備	AGECOCO、私立保育園3園、認定こども園1園を整備した。(205人の定員増加)	待機児童を解消するため、保育ニーズを把握しながら、保育施設の整備を検討していく。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	一時保育事業 休日保育事業 病児・病後児保育事業	<ul style="list-style-type: none"> 一時保育 年間延べ利用者数：5,520人 保護者の仕事の都合で週1～3日程度の保育が一定の期間継続して必要な場合や、入院、通院、災害、事故、出産などの事情で家庭での保育が一時的に困難な場合のための保育サービスを行った。私立保育所の場合、リフレッシュによる利用も可能とした。公立保育所2か所、私立保育所9か所で実施した。 休日保育 年間延べ利用者数：281人 保護者の仕事などの都合で休日(日曜日や祝日)に保育を必要としている場合のための保育サービスを行った。対象は1歳から小学校就学前までとして、私立保育所2か所で実施した。 病児・病後児保育 年間延べ利用者数：793人 保育所、幼稚園、家庭保育室、小学校(1～3年生)に在籍する児童を対象として実施した。病気又は病後回復期であることから、集団保育又は集団生活が困難な場合で保護者が勤務等の都合で家庭での保育ができない場合、委託した保育所又は医療機関に整備された施設に一時的に預かる事業を実施した。 	保育の必要性のある児童に対し、適切な保育環境を提供するため、また、多様なサービスのひとつとして事業を継続する。
		73	ファミリー・サポート・センターの展開	子ども支援課	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と手助けしたい人(提供会員)を会員として組織し、会員相互による援助活動の調整、会員登録、研修等を実施した(上尾市社会福祉協議会に委託)。 対象年齢 0歳～小学校6年生 会員数 1,068人 延べ活動回数 1,898件	サービスの充実を図るため、今後も継続して事業についての周知を行い、会員の確保に努めます。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	公民館	親子で参加できる講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 【上尾公民館】「親子パン教室～オープン無してパンを焼こう～」参加者16人(男性2人、女性6人、子供8人) 【上平公民館】「いつもの野菜が大変身～親子で楽しく野菜スタンプバック作り～」参加者13人(女性5人、子供8人) 【平方公民館】「親子手ごねパン教室～父の日の似顔絵パン作り～」参加者23人(男性4人、女性4人、子供15人) 【原市公民館】「親子ミニ畳作り教室」参加者18人(男性1人、女性8人、子供9人) 【大谷公民館】「新500円硬貨どうやってつくるの?」参加者9人(女性4人、子供5人) 「親子でマジック体験」参加者17人(男性4人、女性4人、子供9人) 	引き続き親子で参加できる講座を実施する。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	人権男女共同参画課	市民活動団体との連携講座を実施	概要番号88『子どものとの関わりから見えてくる“わたし”～フラットな対話を通して考える～』を参照。	講座の開催を検討する。
		75	育児相談事業の実施	保育課	育児相談	市立保育所で保育士による育児相談を実施した。 相談件数58件	育児相談の希望のある保護者に対し、適切な相談環境を提供する
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	育児・発達相談事業	子育て世代包括支援センターで妊娠・出産・子育ての悩み、発達の心配等について電話、または来所で随時相談を実施した。 電話相談件数 2,280件 窓口相談件数 2,426件	継続実施
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	10か月児健康相談	発達が著しく活発になり、成長の節目である10か月児を対象に発育・発達の確認及び保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士が保健指導を実施した。 実施回数 年12回 相談者数 597人	継続実施 12回

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	乳幼児健康相談	保健師、栄養士、歯科衛生士による乳幼児健康相談を実施した。 【にこにこ健康相談会】 実施回数 年12回 相談者数 延べ1,289人	継続実施 12回
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	ことばとところの相談の実施	ことば、行動等心理面・言語面の相談を必要とする幼児と保護者を対象に保健師、心理相談員、言語聴覚士による相談を実施した。 実施回数 年27回 相談者数 延べ443人	継続実施
		75	育児相談事業の実施	子育て支援センター	子育てに関する相談	子育てに関する悩み・不安(健康、発達、しつけ、授乳・離乳食など)の相談に対応した。 相談件数 224件(電話51件、面接171件、メール2件)	相談しやすい環境をつくると共に、子育て中の保護者の気持ちに寄り添い、保護者の不安感・負担感を軽減し細やかな支援に努める。
		75	育児相談事業の実施	発達支援相談センター	発達相談	発達の心配、育児の悩みについて、来所または電話で相談を受け、保護者が自信をもって育児ができるように支援する。 相談件数：992件	悩みや心配が解消され、前向きに育児ができるように対応する。必要に応じて各専門相談に繋げる。
		75	育児相談事業の実施	子ども家庭総合支援センター	家庭児童相談員相談事業の実施	18歳未満の児童を対象に、家庭や学校生活における乳幼児・児童生徒の問題を中心として、電話または来所等で相談を実施した。 相談件数 347件 (電話223件、面接77件、子育てサロン17件、訪問30件)	健康増進課で実施している1.6健診等でチラシを配布し、相談窓口としての周知を強化する。
子育て・保育サービスの充実	子育て・保育サービスの充実	76	児童館事業の展開	青少年課	こどもの城 ・にこにこルーム ・にこにこタッチ ・にこにこピョン アッピーランド ・よちよちひろば ・のびのびひろば ・にこにこひろば ・わんぱくひろば	こどもの城 親子で遊びながら友達づくりや子育ての情報交換と悩み事相談を実施した。 ・計35回実施 ・参加者総数808人 アッピーランド 就学前児童を年齢別に、遊びの提供と情報交換を行う事業を実施した。 ・計39回実施 ・参加者総数396人	こどもの城 各々月1回実施 計36回 アッピーランド 各々月1回実施 計48回
		77	学童保育の充実	青少年課	放課後児童健全育成(学童保育)事業	放課後児童の健全育成を図るため、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に事業を実施した。 学童保育所数 40か所46クラス 学童保育所登録児童数 2,317人 準要保護世帯及びひとり親世帯に対し、保育料の一部を補助した。 【補助実績】 4～9月：延べ340人 7,883,800円 10～3月：延べ324人 7,458,500円 年度計：延べ664人 15,342,300円	引き続き、放課後児童クラブで適切な保育を提供するために必要な環境整備を図る。
		78	家族会への支援の充実	高齢介護課	家族会への支援の充実	在宅で介護している家族を対象に、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回実施している。 ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況に応じて、集合型および電話支援等の非接触型にて実施。 実施回数：8回、参加者数：延べ20人	介護者になることが多い女性の抱える不安軽減のため、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回開催する。
		78	家族会への支援の充実	障害福祉課	家族会への支援の充実	障害者の理解促進のため、家族会ほか諸団体と協働し障害者団体や事業所等製品の販売会などのイベントを行った。	販売会などのイベントを開催予定。
		79	相談体制の充実	高齢介護課	地域包括支援センターによる総合相談事業	地域包括支援センターで、介護を必要とする人やその家族などから相談に応じる総合相談事業を実施した。相談の結果、介護保険の認定申請が必要になった場合は代行申請を行った。総合相談事業における相談件数は、令和4年度59,406件だった。	地域包括支援センターで、介護を必要とする人、家族の相談に応じる総合相談事業を実施する。主な介護者になることが多い女性の抱える介護の悩みや不安の解消となるような相談を目指す。
子育てと介護支援	家族介護の支援の充実	79	相談体制の充実	障害福祉課	相談体制の充実	市内在住の障害のある人からの生活に関する相談体制の充実を目的とし、基幹相談支援センターおよび5か所の障害者生活支援センターへの委託事業を継続実施した。また、障害者の就労に関する相談・斡旋・調整を実施するため、上尾市障害者就労支援センターの委託事業も継続し、相談件数は21,792件であった。	基幹相談支援センター、障害者生活支援センター、障害者就労支援センターへの相談支援の委託を継続する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
援の推進		80	家族介護教室等の開催	高齢介護課	家族介護教室等の開催	要介護高齢者を在宅で介護している家族に対し、必要な介護知識・技術の習得や、高齢者虐待の予防啓発のため、家族の抱える介護の悩みや疑問に答え、適切な介護保険サービス利用の説明等を行う家族介護教室を地域包括支援センターに委託して実施した。 ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、郵送や訪問、個別対応による非接触型と集合型を組み合わせ実施。 実施回数：10回 参加者数：延べ150人	要介護高齢者を在宅介護している家族に対して必要な知識の習得を支援したり、主な介護者になることが多い女性の抱える悩みや疑問に答える家族介護教室の開催をする。 実施回数：10回
		81	認知症サポーターの養成	高齢介護課	認知症サポーター養成講座の実施	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための「認知症サポーター養成講座」を開催。令和4年度は18回開催し、387人の認知症サポーターを養成した。うち、女性258人、男性129名だった。	市内の団体に対して養成講座を開催し、認知症についての普及啓発を継続する。また、女性だけでなく男性のサポーターが増やしていけるよう努めていく。
		82	生活サポート事業の継続	障害福祉課	生活サポート事業の継続	障害児（者）およびその家族が必要としている生活支援サービスを、時間単位で提供するための活動を行っている事業所に補助金を交付した。 補助対象事業所 12事業所 補助額 15,990,050円 サービス時間数 7,107時間	生活サポート事業を継続する。
男性の自立を支援する講座の開催		83	男性が参加しやすい講座の開催	人権男女共同参画課	「家族間のトリセツ講座」	概要番号8「家族間のトリセツ講座」を参照。	同様の講座をより多くの参加者が見込める対面での講座実施を検討する。
		83	男性が参加しやすい講座の開催	健康増進課	妊婦教室（プレママ教室1日目）・両親学級（プレママ教室2日目・パパママ教室）の実施	パパママ教室（両親学級）1日コース（土曜日開催）とプレママ教室（妊婦教室）2日コース（ただし、2日目は両親で参加）（2日とも平日開催） 講師は、1日コースは保健師、2日コースは歯科医師、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士で実施した。 実施回数 1日コース年8回、2日コース年6回 参加者 1日コース延べ376人、2日コース延べ336人	継続実施 プレママ教室 6回（平日） パパママ教室 8回（土曜日開催）、6回（平日開催）
		83	男性が参加しやすい講座の開催	公民館	男性向けの講座の実施	男性に限定した講座は実施しなかったが、ほとんどの講座で男性の参加があった。	男性向けの講座を実施するなど、男性の自立を支援する講座の実施を検討する。
地域の住民組織における男女共同参画の推進		84	地域社会や地域活動への男性の参画の推進	子育て支援センター	出張講座を土曜日に開催	公民館等で実施する出張講座（ももっこ広場）を、誰でも参加しやすいよう土曜日に開催した。 ①開催日 7月2日（土） 場 所 上平公民館 参加者 51人（内訳）保護者29人（男性12人、女性17人）、子ども22人 ①開催日 11月5日（土） 場 所 大石公民館 参加者 50人（内訳）保護者29人（男性12人、女性17人）、子ども21人	通常、平日に開催している「ももっこ広場」（市内公民館の体育室等で、リズムやゲームなどを動かすことに重点を置いた出張講座）を、誰でも参加しやすいよう、日程等を考慮して、年2回、土曜日に開催する。
		85	地域社会における政策方針決定過程への女性の参画の推進	市民協働推進課	自治統括員の委嘱	各事務区（自治会）における女性の参画を図った。 ・自治統括員114人中、女性の自治統括員2人 ※制度改正により、令和2年度からは区長制度から自治会制度に変わったため、区長・区長代理の人数ではなく自治統括員の人数とした。	各事務区（自治会）からの推薦に基づき、自治統括員を委嘱しているが、今後も女性の参画を図る。
		86	自主防犯組織への女性の参画の推進	交通防犯課	自主防犯組織への女性の参画	市内の自主防犯組織100団体中、女性の代表者は1人となっている。また、約600人の女性が自主防犯ボランティアに登録し、活動している。	自主防犯組織では構成員の減少が課題となっており、女性の構成員も減少している。自主防犯組織の活動を周知し、現在の人数を堅持する。女性構成員目標人数600人を維持
		87	ボランティアの育成及び活動支援	市民協働推進課	多文化共生ボランティア講習会を開催し、災害時の外国人支援についての講習会、多言語支援センターの運営訓練を実施	・講習会「災害時の外国人支援」 7月23日開催 ・多言語支援センター運営訓練「外国人のための災害時多言語支援センターの運営訓練」 2月18日開催	引き続き継続。
地域活動における男女共同参画		88	市民活動団体との連携の検討	市民協働推進課	上尾市国際交流協会との協働事業「AGA子ども教室」プロジェクトを実施	11月5日、12月/12月3日、10日 10:00～11:30 文化センター503で実施。	引き続き継続。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
の推進	市民活動団体との連携	88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体の活動支援	女性の地位向上を図るための地域・社会活動事業を実施する女性フォーラムあげおに対して、女性フォーラムあげお補助金交付要綱に基づき補助金の交付を行った。 補助額 120,000円	補助金の交付を行った。 補助額120,000円
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『ネット社会の子ども・若者の性被害を防ぐために』	スマートフォンの普及と共に子どもや若者がSNSを通じて様々な性暴力・性被害をうけたり、性風俗産業に利用されるという問題が深刻化している。被害者から相談をうけながら問題解決のために積極的な活動を続けている講師から、現状の問題点を同うと同時に、被害を防ぐために何が必要か学んだ。 講師：金尻カズナさん 2月25日開催 参加者 15人	引き続き、団体との共催を図る。
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『子どもとの関わりから見えてくる“わたし”～フラットな対話を通して考える～』	現在子育て中の人、子育て経験者、子どもに関わる人向けの、ZOOMによるワークショップ形式で「対話」を実践する講座。対話を通して、起きている事を自分自身と切り離して客観的に捉えることを学んだ。 講師：安本志帆さん（みんなのてつがくCLAF代表） 6月26日実施 参加者6名	引き続き、団体との共催を図る。
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『簡易トイレを作ってみよう！～防災・自助力を高めよう！～』	近年、台風や地震など基大な被害をもたらす自然災害が多発している。起こりうる災害を事前の準備であわてず対処できるよう、体験を通して自助・共助の力を高め、学んだ。 講師：小澤 勇さん（防災士・消防設備士、ユニバーサルデザイン・ステップ代表） 9月10日実施 参加者29名	引き続き、団体との共催を図る。
働く場における男女共同参画の推進	男女の雇用機会均等の確保の推進	89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	商工課	企業人権問題講演会」の実施	【内容】 企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 三浦 隆志 氏（NTT東日本一関信越） ②大宮公共職業安定所 所長 新田 純康 氏 【日時】 令和5年2月17日 午後2時から4時 【会場】 上尾市プラザ22 【参加人数】 28名	市内企業の人権への取組を促進するため、講演会を実施する。
		89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）の推進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）の推進	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		91	育児・介護休業等の取得促進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境作りの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
働きやすい職場環境づくりの推進	仕事と家庭が両立しやすい職場環境の推進	91	育児・介護休業等の取得促進	人権男女共同参画課	庁内LANにて周知	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げた。	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げる。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境づくりの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレットの配布等	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げた。	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げる。
各種ハラスメント防止のための広報・啓発活動		93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	商工課	パンフレットの配布等	労働契約や就業規則をめぐるトラブル事例の紹介や対処方法等についての労働セミナーを埼玉県と共催で実施した。 【演題】埼玉県労働セミナー「労働法の基礎セミナー～労働契約・就業規則～」 【講師】相模女子大学 准教授 奥貴 妃文氏 【会場】上尾市プラザ22 会議室 【開催日】令和4年8月1日 【参加人数】16名	労働法令や労働関係の身近な問題をテーマに、職場環境づくりに役立つ知識を提供するセミナーを、埼玉県との共催で動画配信で実施する。 【演題・配信予定日】 ①労働法の基礎セミナー～賃金～ 7月予定 ②労働法の基礎セミナー～社会保険・労働保険～ 9月予定
		93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
女性の就業継続・起業支援	女性が能力を発揮できる就業支援の推進	94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	商工課	女性向け就職セミナー「面接でよく聞かれる質問とマナー」の実施	【内容】女性の就職活動を支援するため、企業の視点や、挨拶や言葉遣い、マナー等を学ぶことができるセミナーを埼玉県及び伊奈町と共催で開催した。 【演題】面接でよく聞かれる質問とマナー 【講師】埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー 【会場】上尾市プラザ22 会議室 【開催日】令和4年10月14日 【参加人数】8名	女性の就業継続・再就職を支援するため、埼玉県及び伊奈町と共催で女性向けセミナーを実施する。
		94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県女性キャリアセンターの紹介に留まった。	講座の企画・開催を検討する
		95	企業における男女共同参画の啓発	商工課	「企業人権問題講演会」の実施	【内容】企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 三浦 隆志 氏 (NTT東日本-関信越) ②大宮公共職業安定所 所長 新田 純康 氏 【開催日・参加人数】 令和5年2月17日 28名 【会場】 上尾市プラザ22	市内企業の人権への取組を促進するため、講演会を実施する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和4年度事業実施状況	令和5年度目標
の推進	女性の起業家支援体制の推進	96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	商工課	「本気の創業準備セミナー」の実施	創業したい、創業後間もない方を対象に、スタートアップを支援するセミナーを外部講師を招き実施した。 【演題】(全4回) ①「ビジネス」を知る～経営とは～ 令和5年2月1日 ②「ビジネス」を考える～お金の流れと管理～ 令和5年2月8日 ③「ビジネス」を発信する～知ってもらい、買ってもらおう～ 令和5年2月15日 ④「ビジネス」を広げる～しごとづくりは人づくり～ 令和5年2月22日 【講師】㈱フォレスト経営 代表取締役 中小企業診断士 森 尚子氏 【開催日・参加人数】 ①令和5年2月1日 8名 ②令和5年2月8日 9名 ③令和5年2月15日 9名 ④令和5年2月22日 8名	起業を目指す女性を支援するため、関係機関と連携しながら取り組みを実施する予定。また、上尾商工会議所との共催で、創業に関するセミナーを実施する。
		96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県的女性起業家向けセミナーの紹介に留まった。	講座の企画・開催を検討する
女性の就業継続・起業支援の推進	農業に従事する女性支援の推進	97	農業に関わる女性団体への支援	農政課	農業女性連絡協議会運営事業費補助事業	農業女性連絡協議会は生産農家の女性で組織され、女性の社会的・経済的評価と地位向上を図り、健康でゆとりある明るく住み良いふるさとづくりを推進することを目的としている。農業研修会、講習会(味噌づくりなど)を通じて、食の大切さや、食文化の後世への継承づくりを進めている。また、生産農家相互の情報や技術交換をし、農業や経営について知識を深めている。 ・補助額 178,000円(コロナの影響による活動自粛により市へ補助金を返還) ・構成員数 21名	役員会、視察研修、講習会(まんじゅうづくり、味噌づくり)、アグリフェスタへの参加などを通じて食文化の後世への継承づくりを進める。
女性のチャレンジ支援とキャリア教育の推進	女性が少なかった分野へのチャレンジ支援	98	農業系・理工系分野に関する情報提供	人権男女共同参画課	STEM(科学・技術・工学・数学)教育講座の実施～発想・決める・伝える・未来を生き抜く力の鍛え方～	社会に必要な資質や能力として、科学・技術・工学・数学分野の教育が重要視されている。特に女子の理工系分野における女性研究技術者の割合が未だ低い水準であることが課題である。自発性・創造性・判断力・問題解決力について学んだ。講師：三谷 宏治さん(金沢工業大学虎ノ門大学院教授)6月にオンライン配信 視聴者数111人	講座の実施等を通して情報を提供する。
		99	キャリア教育講座の開催	人権男女共同参画課	親子で楽しくSDGs	「SDGs(エスディーズ)」を自分たちの身近な課題として考え、楽しく親子で学んだ。講師：金子 玲子さん(世界に目を向けよう～今、私たちにできること～)代表)6月18日	講座の企画・開催を検討する
防災の分野における男女共同参画の推進	男女共同参画の視点に立った防災対策の推進	100	女性の防災士資格取得の推進	危機管理防災課	自主防災会への勧奨	令和4年度に自主防災会防災士育成補助金の制度を使用して、防災士の資格取得をした女性の数：1人	自主防災会防災士育成補助金の制度を使用して防災士の資格取得をした女性の数：2人(当該補助金は全部で15人分)
		101	男女共同参画の視点でとらえた防災意識の啓発	人権男女共同参画課	簡易トイレを作ってみよう！～防災・自助力を高めよう！～(女性フォーラムあげお共催講座)	近年、台風や地震など甚大な被害をもたらす自然災害が多発している。起こりうる災害を事前の準備であわてず対処できるよう、体験を通して自助・共助の力を高め方、備え方について学んだ。講師：小澤 勇さん(防災士・消防設備士、ユニバーサルデザイン・ステップ代表)9月10日	男女共同の視点でとらえた防災講座の実施(講座開催確定)
		102	男女共同参画の視点に立った地域防災計画・各種マニュアルの整備	危機管理防災課	マニュアル整備	「上尾市避難所運営マニュアル」内の表現(女性やLGBT(性的少数者)への対応)について、担当課(人権男女共同参画課)に確認した	上尾市避難所運営マニュアルをはじめとした他のマニュアル内の表現について確認し、必要に応じて加筆修正を行う。
		103	消防団への女性の参画の推進	消防総務課	団員募集の広報活動	①火災予防運動に合わせ、上尾駅にて団員募集を実施。 ②年に6回実施する分団長会議にて、積極的な団員募集を分団長経由で依頼。 ③12月3日に埼玉県消防協会主催の女性消防団員研修会に女性団員2名参加する。 ④広報あげお等の広報媒体を利用して団員募集を実施。 → 女性消防団員が2名増員し5名	消防団員の入団に関するチラシを作成し、消防団員募集活動を継続的に実施する。3名増員し、合計8名を目標とする。